

# ICT技術の全面活用工事「平成28年度浦山縦工外工事」

## i-Constructionの推進

今後、我が国において生産年齢人口が減少することが予想されている中、建設分野において、生産性向上は避けられない課題です。国土交通省においては、建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す新しい取組であるi-Constructionを進めることとしています。i-Constructionによって、建設現場における一人一人の生産性を向上させ、企業の経営環境を改善し、建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るとともに安全性の確保を推進していきます。

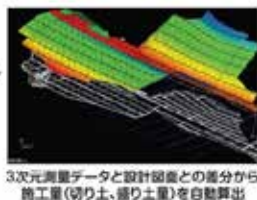
## ICT技術の全面活用工事

土工における調査・測量、設計、施工、検査のプロセスにおいて、情報通信技術を全面的に活用することで出来形や品質などの生産性の向上、また安全性の向上や省力化など環境改善に取り組んでいる工事です。

レーザースキャナーによる地形の3次元化

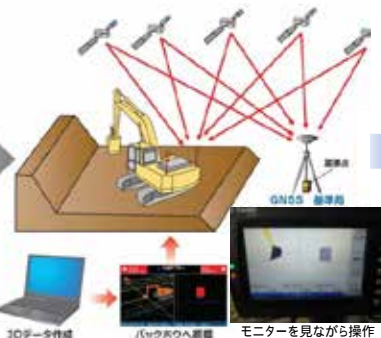


設計図面のデータとの重ね合わせによる施工計画の立案



3次元測量データと設計図面との差分から施工量(切り土、盛り土量)を自動算出

ICT建設機械による施工



検査の省力化

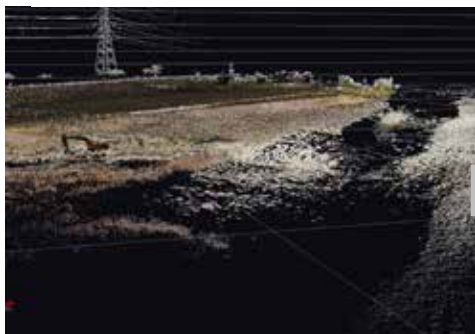


3次元測量を活用した検査により出来形の書類が不要  
検査項目が半減。

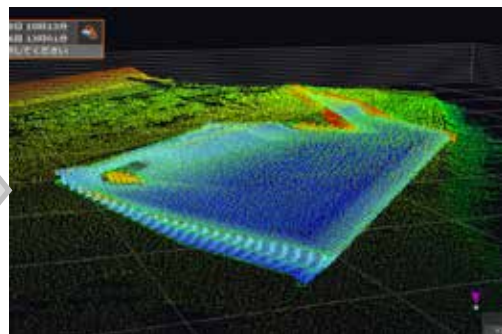
- ・一工事あたりの必要人員を削減出来る事による一人一人の生産性の向上
- ・熟練オペレーター減少への対応

## H28浦山縦工外工事での取り組み事例

LSによる3次元起工測量



3次元設計データと3次元測量の重ね合わせ



マシンガイダンスによる施工(掘削・法面整形)

